

<令和5年度 避難所運営委員会のご紹介>

◆京葉工業高校避難所運営委員会 の取り組みをご紹介します。

令和5年6月11日（日）午前9時30分～ 各町内自治会の方々、京葉工業高校職員、市の直近要員など約30名が参加し、体育館にて開設訓練のシミュレーションを行い、委員会のマニュアルをもとに開設訓練の手順及び備蓄品の確認などを行いました。

越水委員長を中心に、皆さん熱心に確認作業に取り組んでおり、円滑な委員会運営に向け、参加者から多くの前向きな意見が出され、活発な議論が行われました。

また、隣接の避難所委員会の方も見学にきており、模範となる訓練となっております。

訓練を通じて、「いざというときはどのように行動したらよいか」が非常に明確になったと思います。

8月27日（日）の本番の訓練に向け、円滑に委員会が運営できるよう、引続き稲毛区地域づくり支援課で支援して参ります。

【全体説明会】



【まず備蓄品倉庫確認】



【避難所内のレイアウト確認】



【受付台設置作業】



【一次受付・二次受付役割確認】

※国内外線 各1線用意。



【「ケガ人」等を収容するスペース】

※避難者の健康状態等に応じてスペースを用意



【災害時用公衆電話回線の位置確認】



【訓練後の総括と質疑応答】

